

No.50

■発行/奈良市議会
■編集/奈良市議会だより
編集委員会

奈良市議会だより



〒680 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎(0742) 34-4734



桜に彩られた東大寺、興福寺五重の塔

3月定例会

歴史的建造物を世界遺産に 奈良市を世界にアピール 意見書可決

平成九年三月定例会は、三月十日から二十七日までの十八日間の会期で開きました。この定例会では、市長から平成九年度一般会計、九特別会計、三公営企業会計予算案など六十二件が、また議員からは世界遺産登録に関する意見書など二件がそれぞれ提案され、すべて原案どおり可決しました。

平成九年度予算可決 総額 九二二億六千万円

今定例会で審議された平成九年度の奈良市予算は一般会計で一千百三十七億円、九特別会計で五百九十二億九千五百五十万円、三公営企業会計で百八十三億七千四百四十万円、総額で一千九百十三億六千二百九十万円となっており、提案説明で市長は、「平成十年二月一日には、記念すべき市制百周年を迎えようとしている。そんなすばらしい奈良のまちに住んでいる市民一人ひとりが自分たちのまちの歴史に誇りを持ち、豊富な歴史資源からさらに学び、活用する生活文化を創造していかなければならない。平成九年度は、新総合計画後期五カ年の二年目に当たり、その計画路線を逸脱することなく二十一世紀を見据えながら、まちづくりに創意工夫を凝らし、三十六万四千二百五十一人の市民が抱かれている夢の実現に全職員が一丸となって取り組んでいく決意である」と述べました。

意見書

今定例会で可決し、政府等に提出した意見書の要旨は次のとおりです。

▽世界遺産登録に関する意見書

本市は、平成十年二月の市制百周年を記念し、東大寺、春日大社などの歴史的建造物や春日山原始林等をユネスコの世界遺産に登録されるよう積極的な運動を展開している。これらが世界遺産として登録されれば、かけがえない貴重な遺産を守り継承させる上でも、「国際文化観光都市・奈良」を世界にアピールする

上でも大変意義のあることであり、また、世界平和の一助になる。

よつて、平成十年度内の世界遺産登録に向け、手続きを進められるよう強く要望する。

▽医療保険制度の改革に関する意見書

健康保険法等の一部改正は、高齢者の医療費負担増など住民への新たな負担をもたらすものである。よつて、給付と負担の公平を図りつつも、医療保険制度の改革に当たって、高齢者や低所得者に配慮し、住民に過重の負担とならないよう、十分配慮の上、対処されることを要望する。

質問と答弁 本会議

財政

市債依存度縮減に努力 新年度予算編成の留意点

問 新年度予算編成での留意点は、また奈良市行革大綱、節約運動推進による財政健全化への取り組みは。
答 行政改革大綱に示した事務事業の見直しなど、六項目の推進事項を考慮しながら、歳入面では受益と負担の公平性の確保のもと、施設使用料、手数料の見直しを行い、三億七百万円の増を図った。また、後世に負担を残さないように市債依存度の縮減を図り、財政健全化に努めた。

グの対象であり、食事を伴う会議を避ける等、査定基準を設けて予算計上をしている。補助金も補助要綱に基づくもの、義務的なものを除き、その目的、効果を精査し、見直しを図った。政策経費については、事業の必要性、緊急性を勘案し、どうしても今やらなければならない事業に絞り込んだ。

下水道使用料等 引き上げ 消費税も影響

歳出面では、行政改革大綱により三億六千三百万円、節約運動により一億七千七百万円、経常経費の一〇%マイナススリーニングにより九千三百万円、補助金の見直しにより一千六百万円のそれぞれ減となっている。また食糧費は、平成六年度から一〇%マイナススリーニン

問 平成九年度国家予算は総額九兆円の国民負担増となる。どう受け止めているか。
加えて、市の予算案には下水道使用料、水道料金、公共施設使用料などの引き上げが盛り込まれている。市民負担を抑えるべきではないか。
答 国の予算は、大変厳しい状況の中でのものであり、時世に適したものではないかと思っている。

固定資産税評価替え

問 平成九年度評価替えにより、固定資産税額はどのようになるのか。
答 税額据え置き土地が三三%、減額が二%、負担調整措置の関係で増額となる土地が六六%である。
家屋については建築資材の値下がりでおおむね減額となる。

水道料金については、消費税の引き上げに伴う相当分を、下水道使用料については、県流域負担金の引き上げと、市の維持管理費の増高に対するものなど消費税相当分を加え、引き上げをすることとした。いずれも会計の健全性確保のための措置である。

行革や節約運動で経費節減 財政健全化に創意工夫凝らす

三月十三日、十四日、十七日、十八日の本会議では十人の議員(うち代表質問五人)が、質疑・一般質問を行いました。今定例会では、厳しい財政状況の中で編成された平成九年度予算案や市制百周年記念事業、世界遺産登録の推進などについて活発な議論が行われました。以下は、その質問と答弁の要旨です。

市制百周年

次の百年への懸け橋 市制百周年記念事業

問 来年二月一日に奈良市市制百周年となるが、百周年記念事業のテーマ、事業概要は。
答 一古都奈良・ふれあい・創造

都市整備

JR線連立事業 平成22年供用開始

問 JR奈良駅付近連続立体交差事業への取り組みは。
答 県が進め四百五十億円の巨費を投じる同事業は、奈良市、奈良県の発展のため、極めて重要なものであり、県、JRと協力して事業を進める。今年二月十二日、都市計画決定がされたが、今後のスケジュールは、今年秋に事業認可

を得て用地買収に着手し、平成十三年度に仮線工事を、並行して十四年度から高架工事を

北和四市で緊急応援給水 災害時ライフライン強化

問 地震等の災害時におけるライフライン機能強化のため、北和四都市(奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市)間の緊急応援給水体制が計画されている。具体的内容は。
答 全体で十二カ所に相互連絡管の設置が技術的に可能であると考えている。その中

で行い、二十二年度で工事を完了、二十二年度に供用開始の計画である。

で本市と各市間の連絡可能な箇所は、生駒市とは二カ所、大和郡山市とは五カ所、天理市とは二カ所である。平成九年度には各市間一カ所の相互連絡管の施工を予定している。残る箇所についても、協議が調い次第、順次実施する計画である。

創造をテーマに、市内各地で約一年間にわたって記念事業を展開する。単なるイベントではなく市民がこぞつて祝い、次の百年への懸け橋となる事業を考えている。
平成十年二月一日の記念式典は、国内外の来賓を迎え、中央体育館を会場に市民グループや奈良市にゆかりのある方の出演を得て親しみやすいものと考えている。記念事業を生かしたイベントや東京、福岡での平城京展、NHKの公開番組の誘致、姉妹都市友好交流、百歳都市交流、新御能などのほか、市民公募アイデアイベントなど多彩な事業を展開したい。また、平成十年度に完成する仮称奈良市民ホールのこけら落としも行う。

まちづくりのシンボル 世界遺産登録で

問 東大寺や春日大社などに登録する意義は。
答 春日山原始林については、国の特別天然記念物でそ



復元工事が進められる朱雀門大路と朱雀門

全国664市中517市が発行

市議会報に関する調査

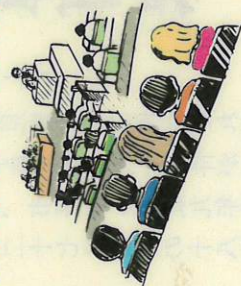
本市議会が、定例会ごと(年四回)に発行している市議会だよりの全国での発行状況が、このほど行われた全国市議会議長会の調査で明らかになりました。調査結果によると、全国の六百六十四市(平成八年四月一日現在)のうち五百一十一市(七七%)が市議会報を発行しています。発行回数は、本市と同様の年四回が二百八十六市で最も多く、次いで五回の百五十七市で、平均では四・五回となっています。

世界遺産に登録されることで、奈良市の誇る文化財が人類全体の宝として改めて世界に認識されることとなり、これらの保護に努めてきた奈良市のまちづくりが世界的に評価されることになると思う。また、今後の保存についても国際的な責務を負うことになり大きな課題になる。同時にまちづくりのシンボルになるとも考えている。

文化的景観を 世界遺産に

問 春日山原始林や、若草山などの景観は、東大寺、春日大社などと一体のものとして素晴らしい歴史的景観を形作ってきた。文化的景観としての世界遺産への登録見通しは。さらに、正倉院の世界遺産への登録は。
答 春日山原始林については、国の特別天然記念物でそ

本会議を 傍聴 してください



れに連なる景観は古都奈良を代表する歴史的景観でもある。従って文化的景観として後世に残すべきものと考えているので、その辺についても強く文化庁に要請している。正倉院は、世界を代表する木造建築物であり、文化的価値の高いものである。さらに文化庁にお願いしていきたい。

教育

今後の人口増で 施設整備を検討 登美ヶ丘公民館

問 平成七年度 登美ヶ丘公民館増築の設計が予算計上されたが、その後、断ち切れになっている。登美ヶ丘十一

次住宅地開発が進行中であり、今後、人口増加により、



人口増により利用増が予想される登美ヶ丘公民館

公民館の利用者が増えることが予想される。増築もしくは

教育予算の 思い切った増額を

問 いじめ、不登校問題解決のためには教育条件の整備が必要である。明日を担う子

建て替えの考えは。

答 近年、人口の増加と地域住民の生涯学習への関心の高まりとともに学習要求が多様化しているが、施設が狭くなり、老朽化も進んでいる地区公民館もあり、順次、増築を実施している。登美ヶ丘公民館については、周辺地域の開発が行われ、将来相当数の人口増が見込まれるので、今後、増築も含めた施設の整備を検討したい。

福祉

全庁的に取り組む 地方版エンゼルプラン策定

問 児童福祉法の改正案が国会に提出され、保育制度の抜本的な見直しを迫られている今日、市として総合的・計画的な保育、子育て支援策のプランを策定していくことが最も重要である。国では、平成六年に「今後の子育て支援のための施策の基本的方向(エンゼルプラン)」を策定、地方公共団体にも地方版エンゼルプランの策定を求めている。どう考えるか。

答 子育てにかかる施策は、保育、住宅、職業等、多方面にわたり、それぞれの分野で各部署が行っているが、地方版エンゼルプランの策定

には福祉部を中心に全庁的な取り組みをしたい。

ファミリー サポート事業導入を

問 女性が職業を継続する上で、育児との両立が大きな課題となっている。労働者が仕事と育児を両立できる環境を整備し、労働者の福祉の増進を図ることを目的とする「仕事と育児両立支援特別援助事業(ファミリーサポート事業)」を取り入れる考えはないか。

答 現在、数カ所の市町村で実施されているが、利用者

低所得の高齢者に 配慮が必要

問 医療保険制度改正に反対の気運が高まっている。万年青年クラブからも切実な声が上がっている。どう受け止めているか。国に対し改正の中止を要請しないのか。

答 増加し続ける老人医療費の費用負担の問題を避けて通ることはできない。高齢者の一部負担は、現役世代の負担と均衡を図る方向で審議されていると思われる。

低所得の高齢者については、適切な配慮が必要であるので、市長会等を通じ国にも働きかけていきたい。

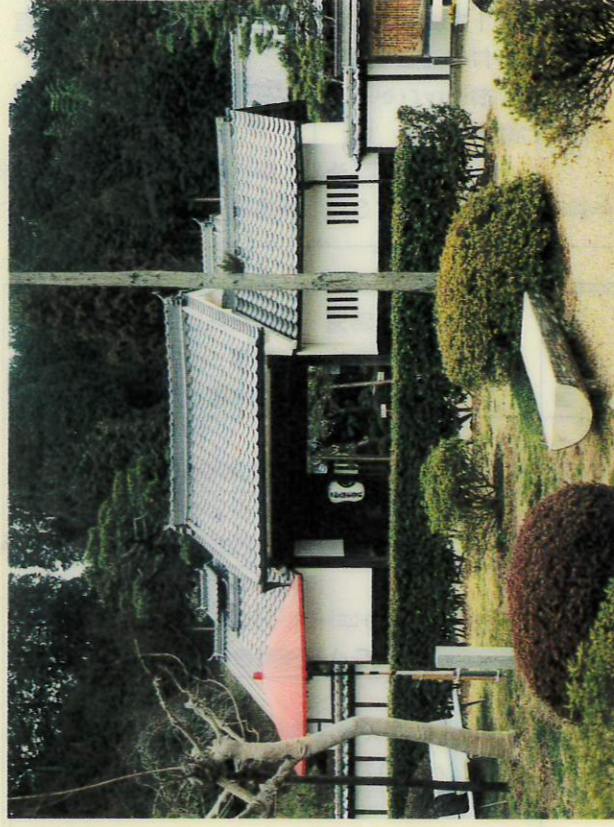
観光

自然や伝説で 誘客を図る

問 東部地域の観光についてどう考えるか。

答 東部地域には民俗芸能をはじめ、旧柳生藩家老屋敷等古くからの伝統的な文化を有する観光資源が豊富である。また、花しょうぶ園、休耕田活用のコスモス栽培などのシーズンには多くの観光客が訪れ、自然を楽しんでいる。近年、環境保全と観光を結び付けたエコ・ツーリズム、農村のリゾート化を目的としたグリーン・ツーリズムが注目されているが、東部地域はこれらの自然指向へのニーズにこたえられる市内で唯一の地区である。

自然に恵まれ、歴史伝説に



自然の中 たたみ 柳生藩家老屋敷

彩られた観光資源をより生かした整備とPR方法を考え、誘客を図っていきたい。

旅館改修に利子補給

問 観光産業は二十一世紀の基幹産業とも言える。市の誘客対策は。

答 市への観光客数はシルクロード博のあった昭和六十三年をピークに年々減少傾向にある。原因は旅行目的の多様化、少子化、円高の影響などが考えられる。平成九年度は新たに首都圏の中学校、高校の先生を対象にした修学旅行誘致懇談会を都内で予定しているほか、きめ細かな観光案内を行う観光ボランティアガイドの養成などを行う。

また、受け皿となる旅館等の改修資金借入れに伴う利子補給制度も導入する。その他、歴史街道事業へも積極的に参画し、今秋完成する朱雀門や東院庭園も新しい観光スポットにしていきたい。

その他の主な質問事項

- 地方税法改正の趣旨
- 消費税の税率引き上げによる予算への影響
- 職員採用計画
- 職員の資質向上
- 国土軸と奈良市、ならまち
- 中国文化村
- 子ども議会の運営方法
- 老人福祉対策
- 西北部地域での市立特別養護老人ホームの建設
- 西部地域の老人憩の家建設
- ならやま園の事業内容
- 同和対策事業の廃止と一般対策への移行
- 同和対策の現状と今後の取り組み
- 人権教育のための国連十年推進本部の設置
- 待機児童と保育所新設等
- 国民健康保険料引き下げ
- 容器包装リサイクル法
- 事業系ごみの減量・再資源化、処理手数料
- 焼却灰有効利用
- 灰からセンター建設計画
- ごみ焼却炉のダイオキシン対策
- 減反政策への考え方
- 農業担い手の育成
- 有害鳥獣対策
- 地場産業、伝統工芸の振興
- (財)アジア太平洋交流センター
- イベント手帳の早期発行
- ならまつり
- 登美ヶ丘第十一次住宅地開発
- 道路整備(大湖池ノ畑等)
- 県の大湖池公園整備に対する市のかかわり
- 押熊真弓線の財政負担
- 防災対策
- 生斑里町の残土埋め立て
- 宅地造成事業、中ノ川町の実施設計事業費予算計上の趣旨
- 大和中央自動車道の進捗状況
- 第二阪奈道路宝来ランプ以東の対策
- 秋篠川の環境整備事業
- 近鉄平城駅舎地下化
- JR奈良駅周辺整備とリニア新幹線との関連
- JR奈良駅周辺整備と交通体系
- 三井ガーデンホテルの従業員への地元雇用
- 仮称奈良市民ホールの進捗状況
- 近鉄西大寺駅周辺整備
- 近鉄西大寺駅北地区市街地再開発事業
- 近鉄学園前駅周辺整備
- 西部出張所跡地、蒼池の土地利用
- 東、西消防署の建て替え
- 児童生徒の国際交流
- 学校園活性化対策事業
- 学校図書室の充実
- 福祉教育の進め方
- 青少年の非行防止と健全育成
- 不登校の実態等
- スクール・カウンセラーの派遣
- 調理員の加配
- 過大規模校の実態と解消への取り組み
- 耐力度調査と耐震診断
- 社会教育施設建設の手法
- クリプトスボリウム対策

予算特別委員会の審査概要

予算特別委員会は、一般会計など十三会計の平成九年度予算案及び奈良市行政組織条例の一部改正など二十議案の計二十三議案を審査し、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。委員会審査での質疑の要旨は次のとおりです。

借入金、予算の2.15倍

問 平成九年度末の借入金残高見込み額は、一般会計予算の二・一五倍にもなる。抜本的な事業見直しが必要ではないか。

答 財政状況は極めて厳しい状況にある。自主財源の確保、活用に創意工夫が必要で、知恵を絞りたい。

部署間に電子メール

問 庁内パソコンをネットワーク化し、各部署間に電子メール機能を導入してどうか。

答 社会の動向を見ながら、時代にマッチしたシステム開発を進めたい。

介護保険法への対応

問 介護保険法成立後の市の対応は。

答 平成十二年度から適用されるが、要介護認定事務等に対処するため、十年度に準備室をつくり、対応したい。

特養ホームの待機者

問 特別養護老人ホームの建設状況と老人保健福祉計画目標数の見直しは。

答 平成八年度末で年次計

画の四百十三人分が達成される。計画目標年度の十一年度に、六百六十人分の目標数が達成できるよう努力したい。入所待機者が解消できない場合は、国、県と協議し、計画を見直さなければならない。

ダイオキシン対策

問 ごみ焼却炉からのダイオキシンの抑制対策は。

答 旧ガイドラインにより、平成三、四年度に有害物質の低減化工事を行い対策を講じてきたが、平成九年一月より厳しい新ガイドラインが



改修工事が行われる西大寺2号踏切

出された。さらなるリサイクルの推進でごみの減量化を図り、燃焼管理の適正化及び施設の改造等を検討し、ダイオキシンの抑制に努めたい。

大和グリーン・ロード

問 大和グリーン・ロードの進捗状況は。

答 工期は平成八年度から十八年度までを予定しており、現在は空中撮影の準備を行っている。

西大寺二号踏切改良

問 西大寺二号踏切改良工事の計画とスケジュールは。

答 踏切の現状は、幅員が五メートルで歩道がなく、歩行者、自転車と車がふくそうし、危険な状況にある。西側に幅員三メートルの歩行者・自転車用の踏切を設置する計画で、九月に着工、年内完了の予定である。

予算特別委員

- 委員長 松田 末作
- 副委員長 松石 聖一
- 権木 義秀 池田 慎久
- 山中 賢司 蔵之上 政春
- 金野 秀一 松村 和夫
- 中村 篤子 森 純男
- 山口 誠 島崎 光治
- 田中美智子 山本 清
- 日和佐権甫 和田 晴夫
- 横井 健二

大和肉鶏で食材開発

問 奈良特産のイナゴや大和肉鶏やまるとにくどり等特色ある食材開発に努め、新たな観光資源としてはどうか。

答 大和肉鶏は低脂肪で時代に合った食べ物として、宿泊客のメインディッシュになり得る料理も考えられる。今後、奈良への観光客の誘致にもつながるものと考えている。

東部集落整備計画

問 東部ゾーン集落整備計画はどうするのか。

答 第二期基本計画の中で東部ゾーンの一定の定住化構想も打ち出しており、小規模の宅地化を進めるなどの土地利用も含め、東部地域の活性化の方策を検討していく。

スクール・カウンセラー

問 平城西中学校のスクール・カウンセラー事業の効果と今後の対応は。

答 文部省の委託事業として平成七、八年度に行った。カウンセラーの存在が、保護者や子供たちに安心感を与えるなど所期の目的は達成でき

議決結果一覧

三月定例会で議決したその他主な議案は、次のとおりです。

件名	結果
◇行政組織条例の一部改正について 都市整備部所管宅地造成事務を建設部に移管	可決
◇職員定数条例の一部改正について 市長の事務部局の定数を十人減員し、消防職を十人増員	可決
◇国民健康保険条例の一部改正について 保険料の賦課限度額を、現行四十六万円から四十九万円に引き上げ	可決
◇史跡文化センター条例の一部改正について等(五件) 史跡文化センター、ならまちセンター、写真美術館、旧柳生藩家老屋敷、体育施設等の使用料の改正	可決
◇下水道条例の一部改正について 県負担金の引き上げ、消費税率の引き上げ等に伴う所要の改正	可決
◇コミュニティスポーツ施設条例の一部改正について 照明を併用使用する場合の使用料加算額の引き上げ	可決
◇水道事業給水条例の一部改正について 消費税率の引き上げ等に伴う水道料金等の改正	可決
◇町の区域及び名称の変更について 三碓町、中町、学園中三丁目各一部を学園中五丁目ほか、四町に変更	可決
◇教育委員会の委員の任命について 藤本真典氏、青山茂氏の再任	同意
◇固定資産評価審査委員会の委員の選任について 岩崎弘氏の再任	同意
◇工事請負契約の締結について(三件) 東之阪市営住宅・般若寺市営住宅の建て替え、JＲ奈良駅西口人工地盤・駅前広場整備工事	同意

た。今後は、各校で引き続き実施方法を検討されている。

給食室の一点検

問 先日、学校給食に異物が混入していた。給食室の照

度的一点検が必要ではないか。

答 児童に安全に給食を提供することが第一義であり、原因が照明等にあつたのであれば、早急に一点検を実施していく。

義援金50万円届ける 重油回収の姉妹都市小浜へ

奈良市議会では、一月二十三日、ロシアタンカーの重油流出事故による重油回収作業に追われている姉妹都市福井県小浜市へ議員の義援金五十万円を届けました。また、国際親善奈良市議会

議員連盟は三月十八日、オーストラリアの姉妹都市キャンベラで建設が計画されているキャンベラ・奈良平和パークに春日灯ろうを贈る会の募金に協力、三十万円を寄附しました。

図書費の優先配当

問 学校図書費を図書整備率の低い学校へ優先配当しないか。

答 各学校の規模、状況等を参考にして配当の方法を検討していく。

樹木名の表示板

問 市指定天然記念物の社そう等へ、樹木名等の表示板の設置をしないか。

答 社そう四件のうち一件は設置済みであり、残りについて、所有者と協議の上、設置に向け取り組んでいく。他の樹木も検討していく。

下水道整備の進捗

問 下水道整備事業の進捗状況と、今後の取り組みは。

答 東部地域を除く進捗率は、平成八年度末で八一・九%である。十二年度末に八七・九%を目標にして事業を進めていく。

クリプトスポリジウム

問 水道水のクリプトスポリジウム対策は。

答 クリプトスポリジウムは、人間等は乳動物に寄生する原虫で糞包のうぼう体のため、通常の塩素消毒では効果がなく、近年、問題となつてきている。本市は、暫定対策指針に基づき、適正な浄水処理の徹底を図っているの

編集後記

奈良市議会だよりも昭和六十年五月一日の創刊号以来、十二年の歳月がたち、今回第五十号の発行を迎えることになりました。この間、歴代の編集委員により印刷色の変更や編集期間の短縮など、その都度、改善を図りながら、市民の皆さんに親んでもらえる議会だよりの発行に努めてまいりましたが、今回の第五十号から、大幅な紙面改革を図り、より読みやすくするためカラー印刷で発行させていただきますことになりました。まだまだ未熟な点はあろうかと思いますが、皆さんのご意見を拝聴しながら、より多くの人に読んでもらえる議会だよりの編集、発行に努めてまいりたいと思います。